



県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 交通ビル3階
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
Eメール kenpyo@cy.tnc.ne.jp

保育士の配置基準の変更 や労働条件改善求め要請

子どもたちにもう一人保育士を実行委員会

実行委員会では11月6日から8日にかけて静岡市・浜松市・富士市の担当と懇談を行いました。要請の内容は①改正された保育士配置基準を早急に実施②すべての保育年齢に対してもう一人の保育士の加配③すべての職員の賃上げ④公定価格の変更を国に求めることの4点です。懇談では、静岡県実行委員会のオレンジTシャツを着て「子どもたちにもう一人保育士を」の取り組みを訴えました。行政としても現場の保育士の意見を聞きたいという姿勢が強く、踏

み込んだ内容での懇談となりました。12月11日には県こども未来課との懇談を行い、こどもの取り組みや宣伝行動などを知らうため静岡県庁社会部記者クラブにて会見する予定です。また、各地で署名の取り組みも進んでいます。水落保育園では「もう一人」の1にちなんで、毎月1日をTシャツアップデーに。初めての11月1日、半数以上の職員が着ているので保護者から「どうしたの？」の質問があり「もう一人」の活動を知って貰う良

い機会になりました。11月11日15日は「署名アップデー」とし署名に取り組みしました。伊東市のこども・教育連絡協議会では11月17日に市内のスーパーの店舗前で街頭署名に取り組みしました。11名が参加し45筆の署名を集めました。もうひとりTシャツを着て、のぼり旗を立て、ティッシュ配りしながらの行動でシユ配りをしながらの行動でした。この他にも浜松市では毎月定例宣伝を行っています。12月21日に「子どもたちにもう一人保育士をクリスマスプレゼント」として浜松の遠



浜松市への要請模様

鉄百貨店前で10時〜11時、静岡では静岡駅北口地下通路で12時30分〜13時30分にスタンディング宣伝を行います。保育の関係者だけではなく、多くの皆様のご参加をお願いします。

秋季闘争

生活守る賃上げ・年末一時金を！ 民間も公務もみんなで奮闘

「時短10分」を獲得
JMITU河合連合支部は今秋闘で長年要求してきた時短を勝ち取りました。本社・工場は、休日数はそのままでの労働時間を10分短くし終業時刻を4時間の所定内労働時間は40時間余り少なくなり、支社営業関係は月曜日がほぼ全て休みとなつて本社工場との休日の差は3日となりました。所定内労働時間の短縮は実に30年ぶりくらいになります。

「低額一時金回答に
組合員の怒り爆発！」
（医労連）
全労災静岡支部浜松労災病院労組は11月8日に1時間の時短ストライキを行いました。組合は一時金低額回答と合意なしで一時金を支給したとして怒りのストライキを決定しました。ストライキ突入者32名と組合執行部は、早朝から「ストライキ決行！」と書かれたチラシを出動者に配布し、「一時金の低額回答は許さない！人を増やせ！」などのシュプレヒコールを行い始業時からストライキを行いました。

「賃上げ求めス
（東海大学教職員組合）
東海大学教職員組合は、大学に対し「職員・専任教員について10%、定期昇給のない非常勤講師は15%のベア」などを要求し12月12日東海大学清水（静岡）キャンパスにてストライキを実施する予定です。東海大では少なくとも過去十数年、非常勤講師のベアは行われていません。ストライキは学生への影響を考え、授業後半の30分で行う予定です。

「繰り返し団交重ねて
（ユニコープ労働組合）
ユニコープ労働組合は、秋闘団体交渉を11月23日30日12月7日と繰り返し実施しています。会社はベースアップは現段階での確約は避けつつ来春闘で実施する方向と回答しています。

「現業まつりを開催」
（静岡自治労連）
自治労連浜松市職員組合は、11月9日、浜松駅前「浜松市職つなぐ、未来の子どもたちへ」と題した現業まつりを開催しました。学校給食とごみ収集処理の大切さと、自治体が責任を持つことを訴えています。「公共を取りもどす」運動に取り組みしました。

「ライドシェア新法は必要ない」
（自交総連）
自交総連は11月7日、交通関係の組合が参加する交運共闘主催の中央行動を行いました。交通労働者の待遇改善やライドシェア阻止、規制緩和や問題や内容について、国交省、厚労省、全タク連交渉を行いました。静岡から市村常任幹事が参加しました。

「浜岡原発の再稼働を許さない！」
ひまわり集会しずおか
11月17日静岡市駿府城公園東御門前広場にて「浜岡原発再稼働反対！ひまわり集会しずおか」が開催され、500人が参加しました。

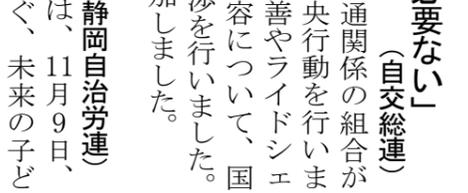
「ひまわり集会しずおか」
11月17日静岡市駿府城公園東御門前広場にて「浜岡原発再稼働反対！ひまわり集会しずおか」が開催され、500人が参加しました。



あいさつする林実行委員長

11月17日静岡市駿府城公園東御門前広場にて「浜岡原発再稼働反対！ひまわり集会しずおか」が開催され、500人が参加しました。

主権者あいさつを林克実行委員長（元県評議長）が行い「能登半島地震では、これまでの想定以上の地震・津波そして地盤の隆起があり、原発本体にさまざまな危険を及ぼしました。中でも政府の避難計画がまったく避難できない絵空事だと言ったことがあきらかになりました。避難しなければならぬ30キロ圏のどの区域、どの方向で避難するかを決める計器が壊れてしまふ、道が隆起のためにズタズタにされてしまふ。浜岡では原発防壁の専門家御前崎から避難する5つの避難路のうち4つは液状化や津波でダメになるとはしましたが、まさにそれが目の前で起こりました。また、数日前日本原電は、敦賀原発敷地内の断層を証明できず規制委員会は廃炉を決めました。浜岡の場合敷地内の地震の審査でも規制委員会が問題にする日断層系も、裁判で明らかになった向斜軸に沿った断層も中電は否定することができません。浜岡も敦賀原発に続く廃炉を決めようではありませんか。世界一危険な浜岡原発は再稼働せずに廃炉に！原発ゼロ、再エネ・省エネ・グリーン水素



一コマ漫画

蓄電池で脱炭素を勝ち取りましょう」と訴えました。その後、共産党衆議院議員本村伸子さん、緑の党の松谷清市議員の連帯のあいさつがあり、おしどりマコ・ケンさんのトークと続きました。マコ・ケンさんの2人は、芸人活動の傍ら、東京電力福島第一原子力発電所事故後、随時行われている東京電力の記者会見、政府・東京電力統合対策室合同記者会見に出席し、また現地取材も積極的に行い、政府・東電の対応、現地の労働者の実態などを発信しているなど話がありました。元湖西市市長三上元さん、美術作家土屋聡さん、伊豆、島田の地域の会の発言のあと、集会アピールを採択しました。

集会後「浜岡原発再稼働反対！」「原発なんていらぬよ！」「こどもを守るうーよー」などと声を上げ、休日までにぎわう繁華街でアピールパレードを行い市民に訴えました。

集会後「浜岡原発再稼働反対！」「原発なんていらぬよ！」「こどもを守るうーよー」などと声を上げ、休日までにぎわう繁華街でアピールパレードを行い市民に訴えました。

集会後「浜岡原発再稼働反対！」「原発なんていらぬよ！」「こどもを守るうーよー」などと声を上げ、休日までにぎわう繁華街でアピールパレードを行い市民に訴えました。



パレードする集会参加者

非正規公務員の 職場状況改善めざして

はたらくみんなの元気が出る集会

11月10日「はたらくみんなの元気が出る集会」が開催されました。リモート参加も含め30人が参加しました。パート臨時労働者連絡会の第19回総会の後、上林陽治氏（立教大学コミュニケーション福祉学部特任教授）の「非正規公務員と正規よりも高いワークエンゲージメント（やりがい）の人たち」の学習講演を行いました。



講演する上林立教大特任教授

年々増えている非正規公務員は2020年に地方公務員法改正により会計年度任用職員制度が制定され、法律に沿って公務職場に非正規公務員を採用することが認められました。しかし、

圧倒的に多かったフルタイム非正規職員をパート職員に身分変更することで、退職金やボーナスの支給から逃れるという処置がされるなど、非正規で働く職員の処遇は悪化しています。非正規公務員の職種は専門職が多いのですが、処遇の低さや雇用の不安定さで公務サービスの低下を招いています。また、国から交付されているボーナスを非正規公務員に支払わない自治体もあり、不当な処遇も散見されます。自治体は、財源不足を人件費削減で補おう

と、職員の非正規化をすすめ専門職を減らし、公務サービスの低下を招いています。講演の後、3つの職場から実態とそれを克服するための仲間づくりの報告がありました。伊東市職の公立保育園の会計年度任用職員（保育士・調理員）が処遇改善に結集したこと。全教静岡では、教師不足にも関わらず、臨時教師には指導もなく処遇が低いこと、支援員には研修もなく時間も充分与えられないこと、図書館司書には5年契約の壁があることなどから、それぞれしやべり場を提供し、改善を求めていること。高教組では3年任期付き非正規教員を正規とカウントしながら、3年経つと退職扱いという不当な処遇であることが報告され、署名活動をしています。

証人尋問が行われる スズキ補助金裁判



裁判傍聴に駆け付けたみなさん

スズキの不正と補助金問題を正す市民の会は、11月14日のスズキ補助金裁判に貸し切りバスを仕立て

傍聴・参加しました。11月14日当日の裁判は、初めての証人尋問となり、スズキ（株）の経営企画室

コーポレートガバナンス部元部長の田代敏明氏と浜松市産業部企業立地推進課元課長の川合比呂氏に対して、主尋問と反対尋問が行われました。

静岡県労働研究所No.89



報告する宇佐美氏

11月21日、定例研究会が開催されました。「私たちの情報通信が危ないってホント?」「NTT完全民営化?」「NTT法の廃止?」ってなに?携帯電話は?自宅の電話は大丈夫?どうなるの?と題して、宇佐美俊一氏が報

告しました。国民の生活を支える基盤となる設備やサービス、仕組みであるインフラサービスの情報通信を、誰もが、適切な安い料金で、全国どこでも、利用できる、電話サービスを持続するための規定がNTT法です。1984年に制定され、NTTは、総務省管轄の特殊法人となりましたが、NTT法が廃止されればNTTへの規制がなくなり、NTTは特殊会社ではなく完全民営化の民間会社となります。NTT完全民営化は、政府保有のNTT株売却却益で約4兆7000億円

相当の財源を、防衛費増額につなげるとして提起されました。料金やサービス内容の変更、個人情報保護、国や企業及び防衛上の通信の秘密が、民間事業者任せで安心・安全が脅かされます。加入電話、光IP電話、第一種公衆電話、緊急通報の110番、119番などのユニバーサルサービスが切り捨てられます。NTT法の見直しは軍拡財源や1企業の利益追求を認めるための論議ではなく、国民のための情報通信事業をどう守り充実させていくのかの観点で論議がされ法改正がされるべきです。



講演する榎田さん

スズキ側の田代証人に対する藤沢弁護士との反対尋問が被告側を追い込み、申請を保留していた鈴木俊宏社長の証人採用を裁判長が消極的ながら言及しました。被告側は、次回期日までにスズキ側の新たな証人の検討を迫られました。『2

田代陳述書をみると』2018年の完成検査における不適切行為を機に個々の対策やつてきており、同じ不正は起きないというところに力点を置いており、企業風土的なものがうすい。2016年（燃費データ不正の問題）、2018年（燃費・排ガス検査不正の問題）、2018年には国交省にさんざん怒られたが2019年（完成車不正検査の問題）があり、懲りもせず同じ体質でやってきている。裁判官が田代さんではだめで、保留していた鈴木俊宏社長の名前を出して、裁判の感想を述べました。次回は、2025年1月25日午前10時半からです。

JR東海の県境越えボーリングに対する抗議行動と静岡県革新懇の学習会開催 リニア新幹線を考える 静岡県民ネットワーク

リニア中央新幹線のトンネル工事の前段階として、JR東海が山梨県内で実施している高速長尺先進ボーリングの調査が11月20日、県境を越えて静岡県内に入ったことが分かりました。

この問題で県内リニア関係7団体は、11月22日にJR東海への抗議行動と記者会見、県の担当部局との懇談などを実施しました。抗議の内容は、①三者合意にあるように県境の大断層由来の水を仕分ける調査をし、報告することが約束されたはず。それが行われず、県境越えボーリングを始め、②県境を越える高速長尺先進ボーリングはそもそも静岡県民にとって重大な関心事であるにもかかわらず十分な説明もなしにボーリングに及んだこと。③2点で工事を中止するよう要請しました。JR東海は、質疑に応じ、個々の論点について受け止めるとしてこちらの主張を社長に伝えると述べました。

11月30日には静岡市内で静岡県革新懇の総会&学習会開催されました。ジャーナリストの榎田秀樹氏と静岡県民ネットワークの林克氏が報告しました。榎田氏は「混迷深めるリニア計画」と題してリニア中央新幹線のトンネル掘削場所に近い東京都町田市の民家の庭で10月22日、地下から水と気泡がわき出た件や、岐阜瑞浪の水枯れの状況を話したあと、全国で遅れているベスト10の工事区間を解説し、みずから実態を調査し対策をとらない地方自治体とマスコミの姿勢を批判しました。その後、林氏が「鈴木知事でリニア工事はどうか?」と題して静岡県知事選後の鈴木知事が「水と環境は守る」と表明しながら「最後は政治的決断は必要だ」として新幹線のメリット論に言及している点と、11月22日に行ったJR東海の県境越えボー

アスベスト110番開催

12月21日に下記要領で「アスベスト110番」を行います。つい2日前に患者さんから「労災認められませんでした」という知らせがありました。この方は一年前の前々回の110番で電話してきた方で「何年前かに健康手帳（アスベスト）を交付され、数年前に労災申請したが『病気がアスベスト関連かわからない』という理由で認められなかった。何とかしてくれ」とのことでした。そこで浜松の診療所を紹介し、治療を受けながら、アスベスト肺

（石綿肺）という診断を受けて、国の管理区分決定処分を受けた上で労災申請したところ認められなかったというものでした。こうした隠れたアスベスト患者さんがいて、労災にも関わらず無視されている人がたくさんいます。今は労災以外にもアスベスト救済法（環境再生保全機構）による補償や、国の損害賠償としての支給金の支給など幾通りも救済の道があり、また労働者以外でも一人親方や中小事業主であっても救済される可能性があります。高度成長期のアスベスト被ばく者は大変高齢化しており、救済は急がねばなりません。また阪神大震災のように大規模な建物崩壊がありそ

の際に被曝した人（30年経過!）や、高度成長期に建てられたビル群の取り壊しのピークを迎えることもあり、被曝者が無くなるどころか増える恐れすらあるのです。身近に咳や痰が酷いとか、肺の疾患を患っている人、建設作業や保温工、溶接工等々粉じんを浴びる可能性があった方たちがいたら是非一度電話して下さい是非一度電話して下さい。アドバイスしてください。

職場の安全衛生を実現するために 静岡県安全健康センター No. 107

アスベスト110番開催

12月21日に下記要領で「アスベスト110番」を行います。つい2日前に患者さんから「労災認められませんでした」という知らせがありました。この方は一年前の前々回の110番で電話してきた方で「何年前かに健康手帳（アスベスト）を交付され、数年前に労災申請したが『病気がアスベスト関連かわからない』という理由で認められなかった。何とかしてくれ」とのことでした。そこで浜松の診療所を紹介し、治療を受けながら、アスベスト肺

（石綿肺）という診断を受けて、国の管理区分決定処分を受けた上で労災申請したところ認められなかったというものでした。こうした隠れたアスベスト患者さんがいて、労災にも関わらず無視されている人がたくさんいます。今は労災以外にもアスベスト救済法（環境再生保全機構）による補償や、国の損害賠償としての支給金の支給など幾通りも救済の道があり、また労働者以外でも一人親方や中小事業主であっても救済される可能性があります。高度成長期のアスベスト被ばく者は大変高齢化しており、救済は急がねばなりません。また阪神大震災のように大規模な建物崩壊がありそ

の間に被曝した人（30年経過!）や、高度成長期に建てられたビル群の取り壊しのピークを迎えることもあり、被曝者が無くなるどころか増える恐れすらあるのです。身近に咳や痰が酷いとか、肺の疾患を患っている人、建設作業や保温工、溶接工等々粉じんを浴びる可能性があった方たちがいたら是非一度電話して下さい是非一度電話して下さい。アドバイスしてください。

アスベスト110番
日時：2024年12月21日 10:00~15:00
電話：054-287-1293
アスベスト被害対策連絡会議：弁護士や専門家が対応します。

特定最低賃金が2024年12月21日より下記金額に変わります

鉄鋼、非鉄金属製造業	1,057円
はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具、輸送用機械器具製造業	1,073円
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	1,042円